

ESW2-350G スイッチの ICMPv6 レートリミット 設定

目的

この資料に ESW2-350G スイッチの ICMPv6 レートリミット 間隔および ICMPv6 レートリミット バケット サイズを設定する方法を説明されています。ICMPv6 レートリミットは IPv6 ICMP エラーメッセージがネットワークで送信される比率を判別します。このメカニズムは意味するトークンバケット方式と設定されますのまたは一度にエラーメッセージをグループ送信する機能があることを。スイッチの各エラーメッセージは仮想なバケットで保存され、バケットで許可されるトークンの最大数は送信される各エラーメッセージのために規定することができます。

適当なデバイス

- ESW2-350G
- ESW2-350G-DC

[Software Version]

- v1.2.6.28

ICMPv6 レートリミット 設定

ステップ 1. スイッチ設定 ユーティリティへのログインは > マネージメントインターフェイス > IPv6 グローバルコンフィギュレーション 『管理』 を選択し。IPv6 グローバルコンフィギュレーション ページは開きます:



The screenshot shows the 'IPv6 Global Configuration' page. The 'ICMPv6 Rate Limit Interval' field is highlighted with a red box and contains the value '120'. The 'ICMPv6 Rate Limit Bucket Size' field contains the value '15'. Below the fields are 'Apply' and 'Cancel' buttons.

ステップ 2. ICMPv6 レートリミット 間隔 フィールドで ICMPv6 レートリミット 間隔値を入力して下さい。



The screenshot shows the 'IPv6 Global Configuration' page. The 'ICMPv6 Rate Limit Interval' field contains the value '120'. The 'ICMPv6 Rate Limit Bucket Size' field is highlighted with a red box and contains the value '15'. Below the fields are 'Apply' and 'Cancel' buttons.

ステップ 3. ICMPv6 レートリミット バケット サイズ フィールドで ICMPv6 レートリミット

ト バケット サイズを入力して下さい。バケット サイズが 15 である場合、15 の ICMPv6 エラーメッセージは一度に送信 されます。

ステップ 4. 『Apply』 をクリックして下さい。